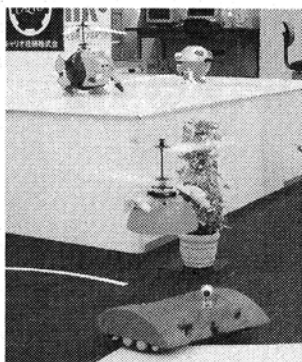


空陸両用ロボを完成

名古屋工学院
専門学校

キャリオ技研と共同

【名古屋】名古屋工学院は、学生向け教材となる
院専門学校とキャリオ技研(名古屋市中村区)が共同で、
空陸両用ロボットの完成



りキャリオ技研に派遣した同校インターシップ生が完成した教材用の空陸両用ロボットの

開発に取り組んだ。22、23の両日、名古屋市内で開かれる「熱田の森ロボット競技会」で発表される。キャリオ技研は今後、教材として販売する予定。

レスキュー用を想定し、地上走行と飛行が可能で、遠隔操作できるロボットの

ロボットを目指した。試行錯誤の結果、飛行ロボットと地上走行ロボを分離し、飛行時は飛行ロボが、地上走行ロボから飛び立つようにした。装着したカメラにより状況をリアルタイムで把握して遠隔操作できる仕組みとした。設計を担当した学生の山本睦さんは「企業と組むことでスピードと成果

が求められた。就職前に参加できて良かったと思う」と振り返った。富田茂キャリオ技研社長は「来年以降も同校学生を受け入れ、ロボットをさらに進化させたい」と学生に期待する。今後、工学教育の教材として学校向けに販売する予定だ。

科学技術